

備前市施策評価シート

【平成30年度作成】

施策名 (小項目)	賑わいをもたらす観光の振興	コード	作成者	役職	産業観光課長
		05-07-28	芳田 猛	氏名	芳田 猛
				電話	64-1832
				このシート作成に要した時間	時間

この施策の アピール ポイント	豊富な観光資源により誘客を行っている。
-----------------------	---------------------

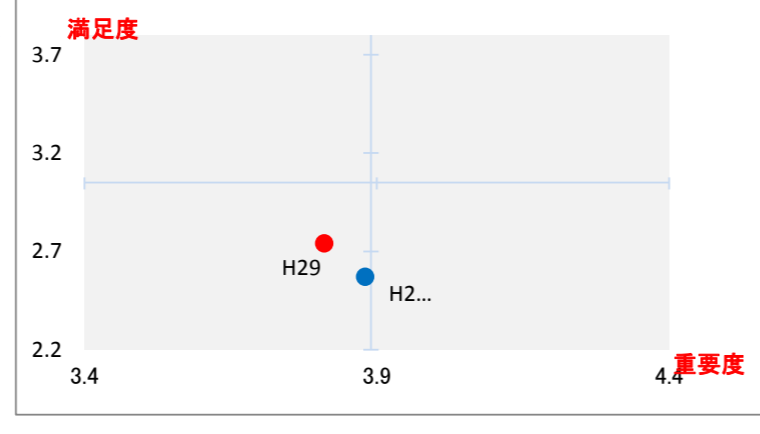
この施策の 平成29年度の 施政方針	賑わいをもたらす観光の振興につきましては、4月に「きっと恋する六古窯」で日本遺産に認定された備前焼を最大限活用し、各種の観光イベントにおいてPR活動を強化して、宿泊型観光を目指し観光客の長期滞在型を目指します。 また、外国人観光客に対応するため、引き続き「無料公衆無線LAN」の増設や6か国語に対応したパンフレットの配布や「BIZEN Audio Guide」アプリの普及を推進します。
--------------------------	--

＜備前市総合計画の内容から記載する＞

① 政策の体系	基本構想（大項目）	生活環境政策「快適・活力」
	基本計画（中項目）	地域の活力を生む産業を振興させるまち
② 対象と目的	（誰のために、何のために）	市民、観光事業者、観光関連団体、観光客等を対象に、観光振興による地域活性化を推進し、活力あるまちづくりを目的とする。
③ 現況と課題	（総合計画から現在の問題点を抽出）	日本遺産である「旧閑谷学校」と「備前焼」、また、ご当地グルメとして「カキオコ」などは、全国的にも知られているところですが、観光客の数は年々減少傾向にあります。本市の観光客の特徴として、観光バスやマイカーを利用した広範囲を移動する日帰り・通過型の観光が主流となっていることから、近隣市町と連携を図りながら周遊型や体験型・学習型観光への誘導を図ることが必要です。今後の本市の観光振興では、本市を訪れる観光客に、市民自らが、ふるさとを自慢できる知識を身につけることが重要です。
④ 施策展開	（総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出）	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の魅力を生かした長時間滞在型、宿泊型観光の推進</li> <li>観光情報の発信</li> <li>おもてなしの心による受け入れ態勢の充実</li> <li>多様な観光ニーズへの対応</li> <li>体験型修学旅行の誘致</li> </ul>

⑤ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H27	H29
重要度 (%)	3.88	3.81
満足度 (%)	2.57	2.74



《グラフにおける領域の説明》

満足度

その施策や事業が必要か否かの検討が必要 → **見直し領域** (高満足度・低重要度)

現状の方向性を継続 → **維持領域** (高満足度・高重要度)

その施策や事業の存続の検討が必要 → **検討領域** (低満足度・低重要度)

内容等見直し、市民満足度を高める事業を行う → **強化領域** (低満足度・高重要度)

重要度

調査結果に対するコメント、市民の反応等	市民意識調査では、満足度・重要度は低いものの、自由意見では、観光に関する意見も数多くある。このことから、市民生活には直結しないものの、市の魅力を生かした観光振興に期待を寄せており、より一層の効率的・効果的な情報発信と施策展開が求められている。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

⑥ 施策成果指標（基本目標・基本施策・施策意図から設定）

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H27	H28	H29				
市内観光施設の入場者数	目標	千人	1,000	1,000	1,000	岡山県観光客動態調査報告値 (市内観光施設及び主要イベント集客数)	H32	110
	実績	千人	761	920	778		H34	120
	達成率	%	76.1	92.0	77.8			
	ベンチマーク		-	-	-			
観光ボランティアガイド登録者数	目標	人	50	50	50	観光ボランティアガイド登録者数	H32	60
	実績	人	56	36	37		H34	70
	達成率	%	112.0	72.0	74.0			
	ベンチマーク		-	-	-			
備前市観光フェイスブックの閲覧数	目標	数				フェイスブック延べリーチ数 (平成28年リーチ数31,012を基準)	H32	25%増
	実績	数		31,012	56,309		H34	30%増
	達成率	%						
	ベンチマーク		-	-	-			
観光ボランティアガイド利用者数	目標	回	5,000	10,000	10,100	観光ボランティアガイド利用者延人数 (案内人数 H28 10,002人基準)	H32	20%増
	実績	人	5,375	10,002	10,584		H34	30%増
	達成率	%	0.9	1.0	1.0			
	ベンチマーク		-	-	-			

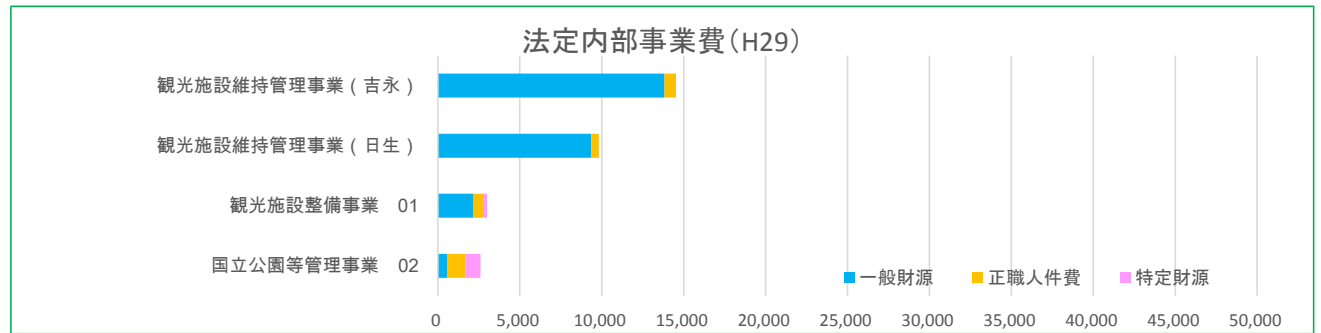
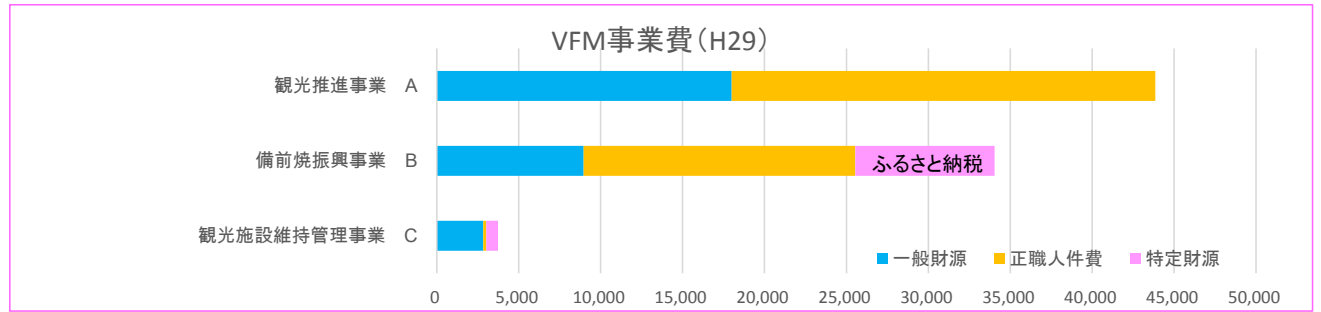
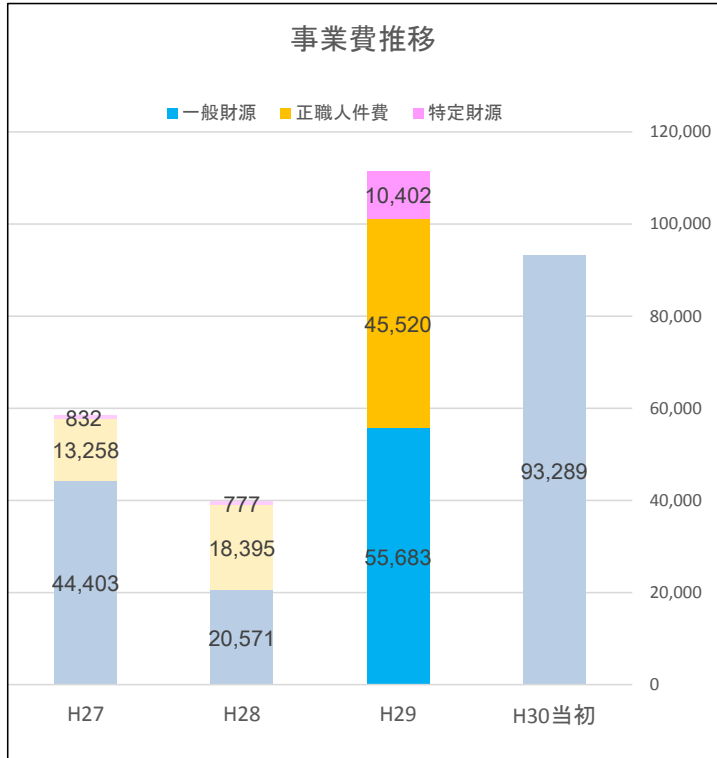
⑦ 目標達成に必要な新規事業（施策構成事務事業以外の事業）及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
文化振興課	歴史・文化施設等の整備	歴史文化基本構想に基づく歴史文化施設の整備等により誘客を図ることができる。
社会教育課	文化スポーツイベント	広域的に実施する文化スポーツイベントを連携して実施することにより誘客を図ることができる。
日生・吉永総合支所	各観光施設の整備・維持管理	観光施設の適正な整備・維持管理を行うことで誘客を図ることができる。

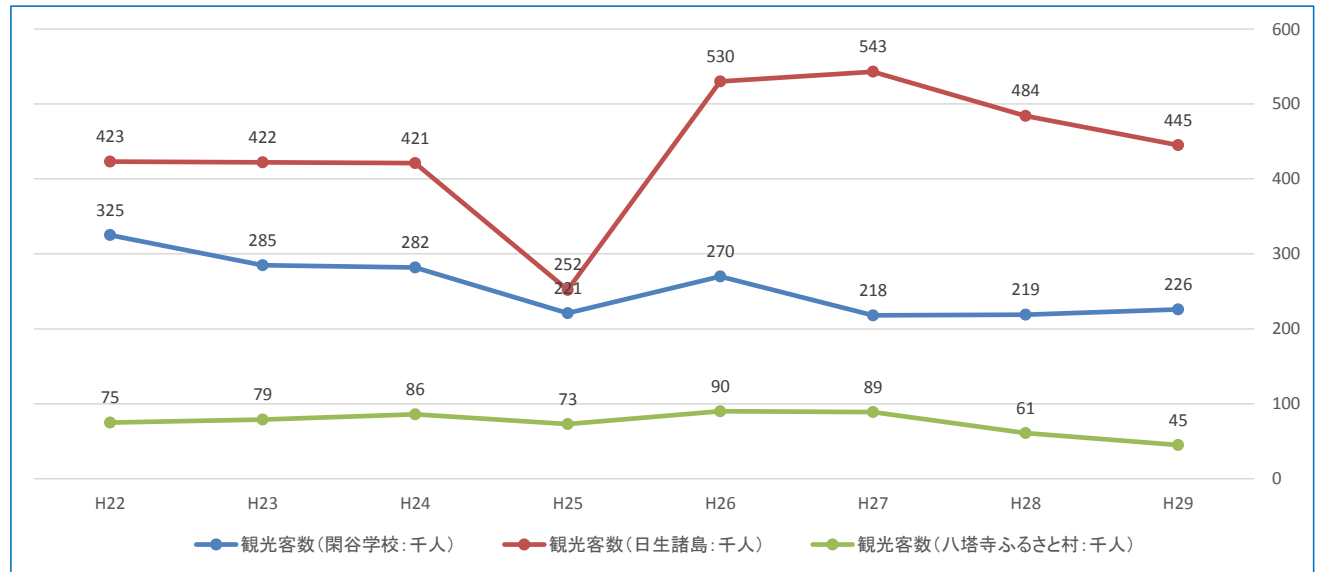
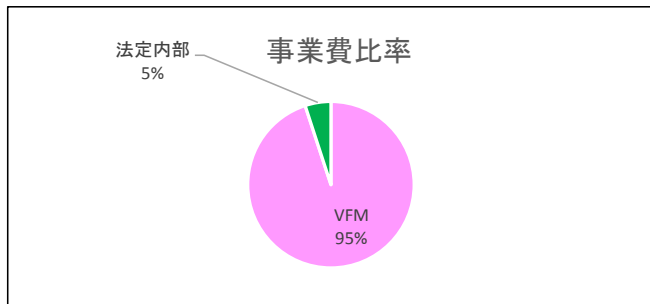
⑧ 施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由 (なぜ、そのランクと評価したのか)	
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	4	観光施設の入場者数を把握・分析することにより、観光客誘客の施策展開に必要な指標であり、成果指標として妥当である。	
2 <事業構成の妥当性> 手段は最適か?	3	観光施設の維持管理、PR活動、関係団体への補助など、観光振興には、各種事業が必須であり適正である。	
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	4	旧閑谷学校の日本遺産の認定や備前〇日生大橋の開通などの効果が薄れ、観光客数は若干減少した。観光資源の洗い出しとインバウンド施策を推進し、県、関係団体等連携して広域的周遊観光プランの作成やPR活動の強化により中期的な指標達成を目指す。	
進行年度(H30年度)の取組内容 (課題解決状況)		旧閑谷学校が日本遺産に認定され、観光客も増加していたが、平成29年度には、減少に転じており、備前焼の日本遺産認定と合わせ2つの日本遺産をPRし、観光客の誘客を強化する。また、バスツアー補助制度の見直しによる地域経済の活性化とICOCA導入に伴う観光客の誘客を図り、本市の魅力発信に努めます。	
翌年度(H31年度)の取組目標		映画「ハルカの陶」のロケ地を資源とした、観光客の誘客による観光産業の振興を図り、地域経済の活性化に努めます。また、2020年のオリンピックに向けたインバウンド誘客を図るための事業を検討・実施します。	
二次評価者コメント		近年、本市への観光客は減少傾向にあるが、元々優れた観光資源を多数有しており、有効活用に繋がっていないと考えられます。こうした中で国は観光立国を目指し多くの外国人受け入れを進めているが、本市においてもこのインバウンド観光に着目した改革や、周遊や体験・学習などの滞在型観光など新たな観光施策に取り組んで下さい。また「ハルカの陶」映画化ほかメディアの活用やイベントなどによるPR方策も併せて検討してください。	基本施策への貢献度
	役職 産業部長 氏名 平田 惣己治	4 やや高い	

施策評価シート(裏面)



事業費 1.1 億円  
 特定財源 0.1 億円



01 観光推進事業 事務事業評価シート【VFM】

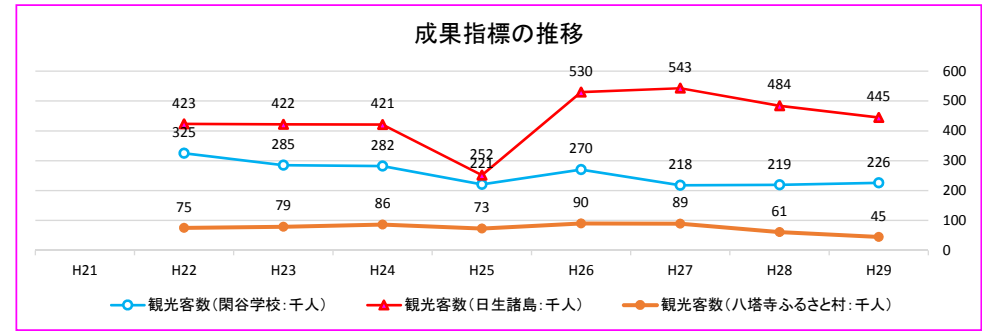
事業開始年次	S 4 6～			事業の終期	
総合計画	基本構想	05	生活環境政策「快適・活力」	担当課(室)	産業観光課
	基本計画	07	地域の活力を生む産業を振興させるまち	職・氏名	課長補佐 坂本、主幹 田口
	施策	28	賑わいをもたらす観光の振興	電話	

事業の成果	備前市を訪れてくれる観光客数を増加させる。
成果指標名A	観光客数（関谷学校：千人）
成果に関する他の要因	
成果指標名B	観光客数（日生諸島：千人）
成果に関する他の要因	
成果指標名B	観光客数（八塔寺ふるさと村：千人）
成果に関する他の要因	

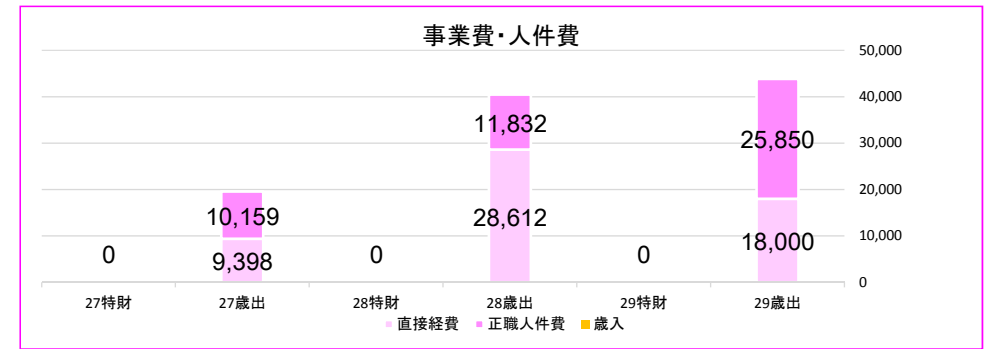
事業の説明	事業概要	新たな観光素材の活用、観光案内サービスの向上、観光PR活動の推進により、市への来訪者数を増加させ、市の活性化を図る。 【今年度の重点項目】《新規》市有船を活用した観光船を運行する。
	制度改正の状況	ツアー補助金の交付条件の変更（立ち寄り1か所→2か所、宿泊を伴う場合は500円→1,000円）
	結果・実績	ツアー補助金対象 H28 61件（5,739人）、H29 59件（8,073人）

経費の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・賃金：52,400円（運転員賃金） ・報償費：237,500円（出展協力謝礼） ・旅費：262,400円（普通旅費）</li> <li>・需用費：545,189円（消耗品費、燃料費、印刷製本費、修繕料）</li> <li>・役務費：1,642,024円（通信運搬費、損害保険料、広告料）</li> <li>・委託料：1,804,000円（行事企画運営、観光情報作成） ・公課費：6,600円（自動車重量税）</li> <li>・使用料及び賃借料：16,144円（有料道路通行料、船借上料、イベント施設等）</li> <li>・負担金補助及び交付金：5,945,240円</li> </ul>
	（イベント参加負担金、観光写真掲出負担金、備前観光ツアー促進補助金、岡山県アンテナショップ負担金 地域活性化推進首長連合負担金、無料公衆無線LAN整備事業補助金、市有船活用事業補助金） 広域連携事業（県観光連盟負担金、東備広域観光連盟負担金、JR赤穂線沿線協議会負担金）1,029,000円 観光団体負担金（観光協会5,000,000円、観光ボランティア協会1,000,000円、八塔寺ふるさと村連450,000円ほか） <b>【事業費合計】10,511,497円</b>

歳入の説明	
-------	--



有効性分析	ツアー促進補助金については、利用件数は初年度とほぼ同じ。市内施設1か所のみ利用が多く、効果が限定的であった。H30年度は制度を改正して、さらに市のPRに有効活用したい。
-------	--



効率性分析(費用対効果)	観光客数は微減となっているが、費用は増加している。補助金等の制度改正を検討する必要がある。
--------------	---

妥当性の判断	・ツアー補助金など効果が限定的であるものについて、制度改正を行った。今後も効果を精査しながら補助金の支出や方法を検討していく必要がある。 ・観光関連団体との連携や広域連携は、観光事業を行っていくうえで必要であり、負担金・補助金の支出は妥当である。
--------	--

今年度の重点取組	オクトーバーフェストなど、市内イベントを行い、誘客を図る。 観光ツアー補助金利用者に観光PRを行い、ツアー造成を促進する。 観光関連団体の自主財源確保 広域連携による観光ルートの開発や、観光PR活動を行う。 映画「ハルカの陶」の制作を通じて、撮影地としてPRを行い、誘客を図る。
----------	---

次年度の方向性	日本遺産として認定されている備前焼・旧関谷学校や、日生諸島を核として、観光ルートの設定や周辺観光資源の開発やブラッシュアップを行う。また、日生諸島を起点とするサイクリングロードなど、広域にわたる観光素材については、単市によるPRでは効果が低いことから、広域連携によるPRを検討していく。 観光協会等の団体とは今後も連携して活動していくことが必要であるが、それぞれ自立して運営できるよう財源の確保等を促し、補助金の適正な額の設定を行う。
---------	--

05 備前焼振興事業 事務事業評価シート(VFM)

事業開始年次	S46~			事業の終期	
総合計画	基本構想	05	生活環境政策「快適・活力」	担当課(室)	産業観光課
	基本計画	07	地域の活力を生む産業を振興させるまち	職・氏名	課長補佐 坂本 寛 主任 矢根 満喜子
	施策	28	賑わいをもたらす観光の振興	電話	0869-64-1832

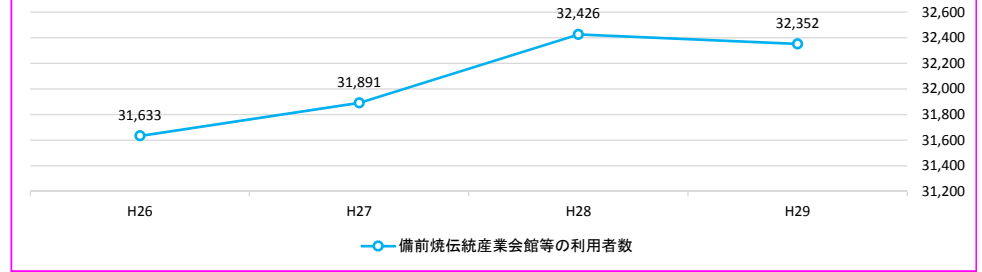
事業の成果	備前焼産業の活性化と後継者育成
成果指標名A	備前焼伝統産業会館等の利用者数
成果に関する他の要因	
成果指標名B	備前焼従事者数(陶友会等会員数)
成果に関する他の要因	

事業の説明	事業概要	全国に誇れる備前焼を観光資源として全国展開し、観光振興による産業の活性化と人口増加につなげるとともに、「備前焼の里、備前市」として技術と伝統を継承する活動を支援する。 【今年度の重点項目】《新規》備前焼まつりの内容を充実することにより、来場者数の増加を図り、備前焼の振興と地域の発展を目指す。
	制度改正の状況	・H30：伝統的産業振興事業補助金を創設(補助対象：陶友会 1/2補助、上限50万円)
	結果・実績	伝統産業会館利用者数： H26 31,633人 H27 31,891人 H28 32,426人 H29 32,352人

経費の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・賃金：100,870円(運転員賃金) ・旅費：697,420円(普通旅費)</li> <li>・需用費：870,328円(消耗品費、印刷製本費、修繕料) ・委託料：1,470,000円(備前焼伝統産業会館指定管理料)</li> <li>・使用料及び賃借料：79,047円(有料道路通行料、施設使用料) ・工事請負費：635,040円(施設整備工事)</li> <li>・負担金補助及び交付金：13,610,000円</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>【内訳】備前焼まつり実行委員会補助金：4,000,000円 六古窯日本遺産活用協議会負担金：5,000,000円</li> <li>備前焼陶友会補助金：500,000円 備前焼販路開拓事業補助金：960,000円</li> <li>伝統的工芸品産業振興会負担金：50,000円 備前陶芸センター運営補助金：3,100,000円</li> </ul> <p style="text-align: right;"><b>【事業費合計】17,462,705円</b></p>

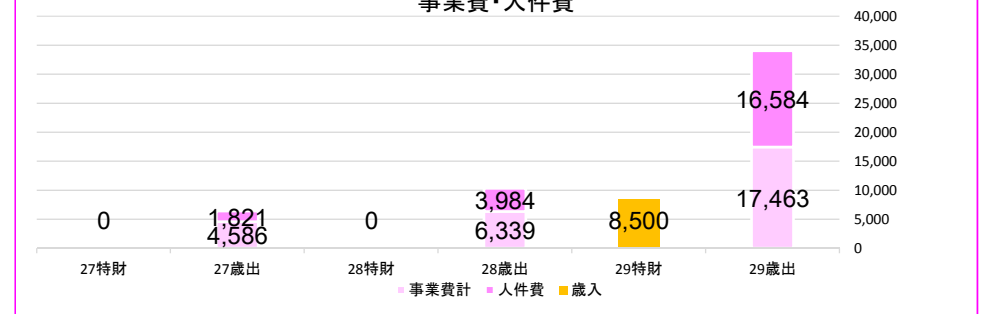
歳入の説明	その他：4,500千円(説明：六古窯日本遺産活用協議会負担金精算金) まちづくり応援基金充当：4,000千円
-------	---

成果指標の推移



有効性分析	平成29年に備前焼は「きつと恋する六古窯」として日本遺産に認定されたが、備前焼伝統産業会館と備前焼ミュージアムの利用者数は微減しているため、PRの成果は上がっていないと考えられる。
-------	--

事業費・人件費



効率性分析(費用対効果)	機構改革に伴い日本遺産の国庫補助事業に係る人件費や負担金等により事業費、人件費ともに大きく増加しているが、主要施設への来場者は微減している。
--------------	--

妥当性の判断	・H29年度の日本遺産の国庫補助事業費はポスターやタブロイド、映像等のPR用資材の製作に充てられており、本格的な普及啓発は未実施のため、事業効果が限定的なものとなっている。H30年度はそれらを効果的に活用して主要施設入場者の獲得につなげていく必要がある。
--------	---

今年度の重点取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統的産業振興事業補助金の新規交付により陶友会会員の自主的・独創的な取り組みを支援する。</li> <li>・日本遺産六古窯のPRは若い世代をターゲットとし、昨年度作成したデザイン性の高い制作物を活用して6市町の連携により進める。また、六古窯の産地で連携し、商品化を目指す。</li> <li>・備前焼まつりや新規開催のオクトーバーフェスト等の機会を捉え、備前焼のPRを強化する。</li> <li>・備前焼のPR映像を作成する。</li> </ul>
----------	--

次年度の方角性	・海外への販路拡大やインバウンド誘客、バイヤー誘致に向けて、多言語での六古窯・備前焼のPRを強化する。
---------	---

03 観光施設維持管理事業 事務事業評価シート【VFM】

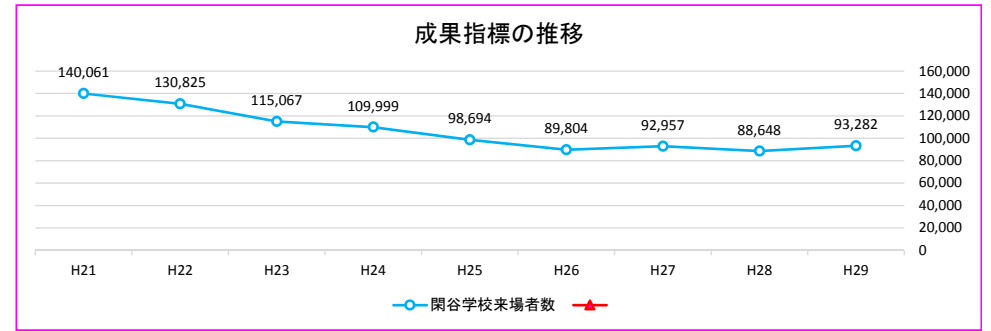
事業開始年次	S 4 6～			事業の終期	
総合計画	基本構想	05	生活環境政策「快適・活力」	担当課(室)	産業観光課
	基本計画	07	地域の活力を生む産業を振興させるまち	職・氏名	観光振興係長 坂本 寛
	施策	28	賑わいをもたらす観光の振興	電話	0869-64-1832 (274)

事業の成果	施設管理を行うことで訪れた観光客に気持ち良く利用してもらう。
成果指標名A	閑谷学校来場者数
成果に関する他の要因	
成果指標名B	
成果に関する他の要因	

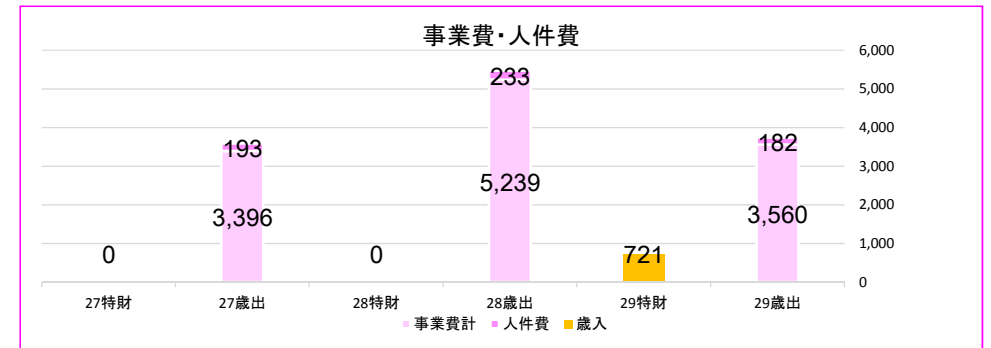
事業の説明	事業概要	観光客に観光施設を快適かつ安全に利用していただけるように施設の維持管理等を行う。
	制度改正の状況	なし
	結果・実績	施設維持管理件数： H27 3件 H28 3件 H29 3件

経費の説明	【需用費】：516,263円（消耗品費、光熱水費、修繕料） 【役務費】：152,332円（保険料、通信運搬費） 【委託料】：2,847,600円（施設維持管理、指定管理委託料） 【負担金補助及び交付金】：43,766円（大滝山上水道管理組合負担金） 【事業費合計】：3,559,961円
-------	---

歳入の説明	閑谷学校駐車場等管理委託金 721,000円
-------	------------------------



**有効性分析** H27年度に日本遺産認定を受けて以降の来場者数は、ほぼ横ばいの状態である。また、指定管理委託施設（南ふるさと交流センター）は、施設を有効活用できる団体が協同組合岡山県備前焼陶友会の他に無いことから、継続して指定管理で委託を行う。



**効率性分析 (費用対効果)** 観光施設の維持管理は、観光客の利用満足度向上を目指しており、費用対効果を考え、優先順位を付け実施していることから、適正であると判断している。

**妥当性の判断** 観光施設の維持管理は、観光客の利用満足度向上には必要不可欠であり、妥当であると判断している。

**今年度の重点取組**  
 ・伝統産業会館の老朽化したコンコースの補修工事と雨漏り修繕  
 ・観光トイレの凍結防止に係る修繕

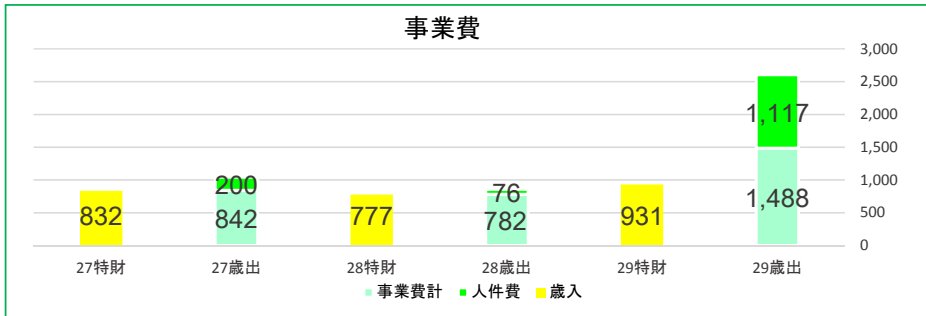
**次年度の方向性**  
 観光トイレの洋式化



備前市事務事業評価シート【法定事務】【内部事務】

総合計画	基本構想	05	生活環境政策「快適・活力」	担当課	産業観光課
	基本計画	07	地域の活力を生む産業を振興させるまち	職・氏名	観光振興係長 坂本 寛
	施策	28	賑わいをもたらす観光の振興	電話	0869-64-1832 (274)
事務事業名		01	国立公園等管理事業	法令名	

事業の説明	事業概要	日生諸島や夕立受山などの瀬戸内海国立公園、八塔寺ふるさと村を含む中国自然歩道の保全のため、県から委託を受けて維持管理、法定事務を実施している。
	主な事業費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【賃金】：144,000円（作業員賃金）</li> <li>・【需用費】：341,765円（消耗品費、光熱水費、修繕料）</li> <li>・【役務費】：85,320円（し尿取料）</li> <li>・【委託料】：914,480円（浄化槽維持管理、草刈作業等、支障木伐採、中国自然歩道管理委託料）</li> <li>・【使用料及び賃借料】：2,440円（船借上料）</li> </ul>
	特定財源	県委託金：777千円（説明：事業費合計の約50%） 中国自然歩道管理委託金：153,000円
	処理実績	施設維持管理（事業計画により行った国立公園内施設の延べ維持管理回数（清掃・草刈等）） H27 10回 H28 10回 H29 11回
	前年度からの変更点・改善点	

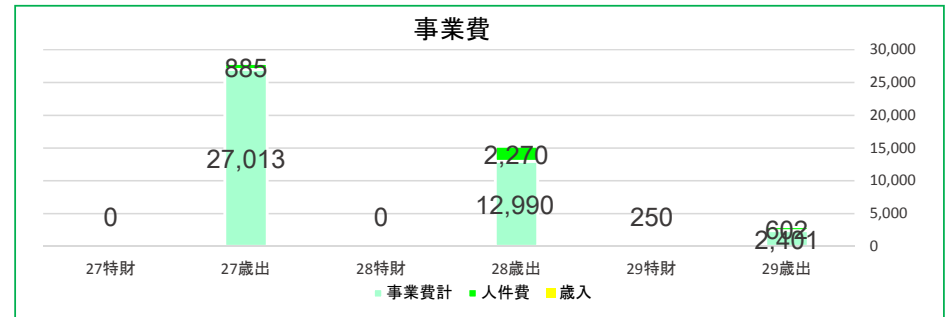


直接経費の分析	
人件費の分析	事務改善等による効率化：特になし アウトソーシング等による効率化：特になし
今年度の改善点	引き続き、4箇所の維持管理事業を実施する。
次年度の方角性	特に方向性を変えることはない。

備前市事務事業評価シート【法定事務】【内部事務】

総合計画	基本構想	05	生活環境政策「快適・活力」	担当課	産業観光課
	基本計画	07	地域の活力を生む産業を振興させるまち	職・氏名	観光振興係長 坂本 寛
	施策	28	賑わいをもたらす観光の振興	電話	0869-64-1832 (274)
事務事業名		02	観光施設整備事業	法令名	

事業の説明	事業概要	既存の観光施設の修繕、整備を行うことにより、観光客の利便性向上を図る。
	主な事業費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光看板設置委託料 648千円</li> <li>・観光施設整備工事 1,800千円</li> </ul>
	特定財源	県補助金 地方振興事業調整費補助金 250,000円
	処理実績	観光看板設置 処理件数 H27 2件 H28 0件 H29 2件 観光施設整備 処理件数 H27 0件 H28 2件 H29 2件
	前年度からの変更点・改善点	H28 頭島レストラン・伝統産業会館1F整備費 12,632千円 H27 伊部つながりの西観光休憩所整備費 15,703千円



直接経費の分析	増加した経費：委託料（理由：一部、単県補助事業を活用し、看板設置を実施したため） 減少した経費：工事請負費（理由：施設整備工事の規模が小さいため）
人件費の分析	事務改善等による効率化：特になし アウトソーシング等による効率化：特になし
今年度の改善点	特になし
次年度の方角性	必要に応じて整備を実施する

備前市事務事業評価シート【法定事務】【内部事務】

総合計画	基本構想	05	生活環境政策「快適・活力」	担当課	日生総合支所管理課
	基本計画	07	地域の活力を生む産業を振興させるまち	職・氏名	総務管理係長 中畑喜久弥
	施策	28	賑わいをもたらす観光の振興	電話	0869-72-1101
事務事業名		03	観光施設維持管理事業(日生)	法令名	

事業の説明	事業概要	観光客に観光施設を快適かつ安全に利用していただけるように施設の維持管理等を行う。
	主な事業費	【賃金】：236,450円（作業員賃金） 【需用費】：2,248,362円（消耗品費、光熱水費、修繕料） 【役務費】：291,789円（保険料、水質検査手数料、し尿汲取料） 【委託料】：4,676,260円（施設維持管理、指定管理委託料） 【使用料及び賃借料】：503,810円（船借上料、国有林野等借地料、公園用地借上料） 【工事請負費】：410,400円（海水浴場砂浜整備工事） 【原材料費】：39,965円（維持補修等原材料費） 【備品購入費】：941,760円（施設備品） <b>【事業費合計】：9,348,796円</b>
	特定財源	大多府海水浴場施設使用料：18,000円
	処理実績	施設維持管理件数：H27 3件 H28 3件 H29 3件
	前年度からの変更点・改善点	

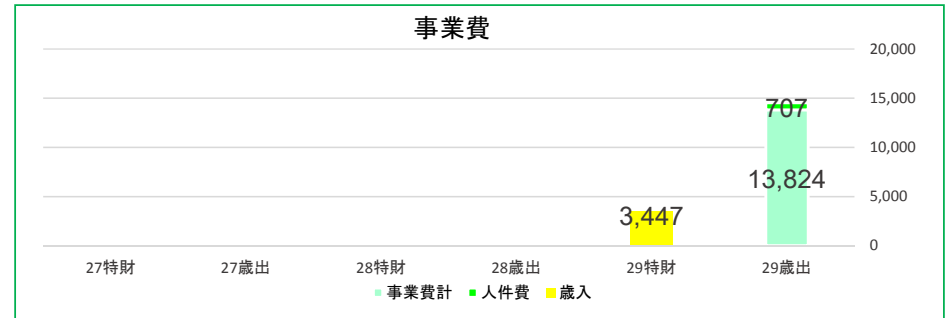


直接経費の分析	
人件費の分析	
今年度の改善点	ふれあいの館かぜまち、古代体験の郷まほろぼにおいては、消防法改正により火災報知器の設置が義務づけられ対応を行った。
次年度の方向性	次年度に向けて、引き続き日生地域内の観光施設については、快適かつ安全に利用していただけるよう維持管理を行う。また、古代体験の郷まほろぼについては老朽化により今後必要に応じて改修を行っていく。

備前市事務事業評価シート【法定事務】【内部事務】

総合計画	基本構想	05	生活環境政策「快適・活力」	担当課	吉永総合支所管理課
	基本計画	07	地域の活力を生む産業を振興させるまち	職・氏名	
	施策	28	賑わいをもたらす観光の振興	電話	
事務事業名		04	観光施設維持管理事業(吉永)	法令名	

事業の説明	事業概要	観光客に観光施設を快適かつ安全に利用していただけるように施設の維持管理等を行う。
	主な事業費	【需用費】：1,092,276円（消耗品費、光熱水費、修繕料） 【役務費】：90,545円（保険料） 【委託料】：11,544,180円（施設維持管理、指定管理委託料） 【使用料及び賃借料】：216,000円（公園用地借上料） 【工事請負費】：464,400円（施設整備工事） 【備品購入費】：415,800円（施設備品） <b>【事業費合計】：13,823,201円</b>
	特定財源	県委託金 タム施設管理委託金 3,435,000円 貸家料 12,000円
	処理実績	施設維持管理件数：H27 3件 H28 3件 H29 3件
	前年度からの変更点・改善点	



直接経費の分析	増加した経費：修繕料127（施設の老朽化による修繕増）、工事請負費464（観光案内所トイレ洋式化）、備品購入費270（八塔寺山荘消防設備の法改正対応） 減少した経費：委託料208（施設維持管理委託の内容変更等による減額）
人件費の分析	
今年度の改善点	特になし
次年度の方向性	施設の老朽化に伴いかかる修繕料も増加してくるが、三国地域の振興を考えた場合、八塔寺ふるさと村の保存（景観修景）が必要である。